



UNIVERSAL WINE CELLAR

UD-12
ワインセラー 12本収納タイプ

Angelshare

このたびは、家庭用電子式ワインセラー(12本用) UD-12をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。

本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

本機はワインの良好な貯蔵環境を提供するもので、ワインそのものの品質を保証するものではありません。また、ワインセラーの運転状態や庫内温度、ワインの保存状態、結露の状態など常に注意を払うよう心がけてください。

なお、万一、停電、本機の故障、取り扱い不良によるワインの劣化などがありましてもワインそのものの弁償は致しかねますのでご了承ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマーサポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問合せ》

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

営業時間: 平日午前9時～午後6時
(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

もくじ

はじめに	2	使いかた	12
安全上のご注意 (必ずお読みください)	3	便利な機能	14
おもな特徴	5	お手入れのしかた	16
ご使用前に	6	故障かな?と思われる前に	17
各部の名前	10	主な仕様	18
付属品の取り付け/取り外し	11	保証とアフターサービス	19

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味



警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることをあらわします。図の中や下に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



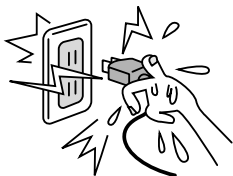
警告

電源コード、プラグの取り扱い

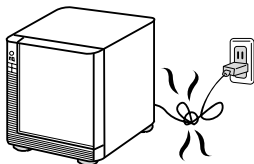
- コードを持って抜かない。
- 濡れた手で抜き差ししない。
- 水をつけない。



禁止



- コードや、プラグが傷んだり、差込のゆるい時は使用しない。
- 傷つけたり、加工したりしない。
- 束ねない。
- 物を乗せない。



- 定期的にプラグを抜いて乾いた布で拭く。
- 定格15A以上の交流100Vの専用コンセントに単独で差し込む。
- 根元まで確実に差し込む。



守る



本体の取り扱い

- お子さまのいたずらに注意する、ぶら下がったり、上に乗ったりしない。
- 水を入れた容器を上に乗かない。
- 水のかかるところや、湿気の多い場所におかない。



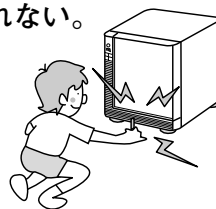
禁止



- 吸排気口に異物を入れない。



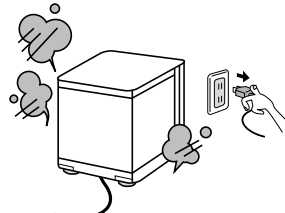
禁止



- 地震に備え、転倒防止処置をする。
- お客様自身で修理、改造をしない。
- 煙が出たり、異常なおいがする場合は、すぐに電源プラグを抜き、修理を依頼する。

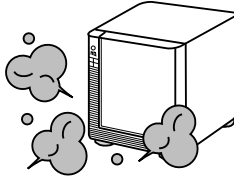


守る



警告

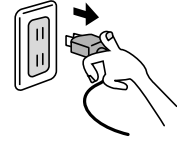
- 段積みをしなさい。
- ほこりの多い場所におかない。
- 可燃性スプレーをかけたたり、近くで使わない。



- お手入れの際は電源プラグを抜く。



プラグを
抜く

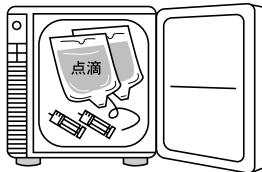


- 廃棄をするときはドアパッキンを外す。
※ドアパッキンは強く引っ張ると外せます。

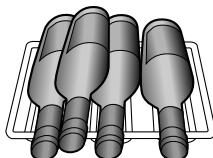
注意

収納は

- 薬品や、においの強い食品を保存しない。
※ 本機はワインの保存に最適に設定されており、薬品などの保存には適しません。また、においの強い食品はワインの香りを損ないますので収納しないでください。

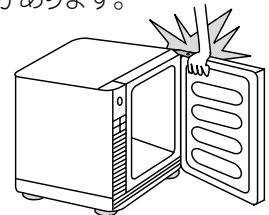


- ワインは不安定な状態で保存しない。
※ ワイン棚の定められた場所に不安定にならないように保存してください。ワインが滑り落ちて、けがや、故障の原因になります。
- ワインを積み重ねたりしない。
※ ワインが滑り落ちて、けがや、故障の原因となります。

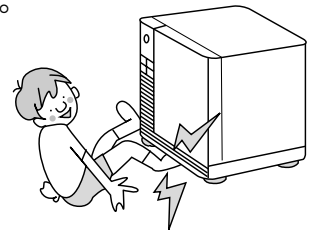


ケガをしないために

- ドアの回転支点部分には触れない。
※ 指を挟む恐れがあります。



- ワインセラーの底面や、背面などに手や、足を挟まない。



移動・運搬をするときは

- 電源コードが絡んだりしないように注意する。
- 絶対に引きずらない。
- 金属部分でケガをしないように注意する。
- 傷や、跡のつきやすい床では保護用の板を敷く。

※ 停電、お客様の取り扱い、もしくは本機の故障などで収納したワインが変質したことによる損害は補償致しかねますのでご了承ください。

おもな特徴

ワインの保存、熟成には15℃前後の一定の温度で、温度変化が少なく、振動のない場所で、しかも、適度に湿度のある紫外線などの当たらない場所に保管しておく必要があります。せっかくおいしいワインを手に入れても一般のご家庭ではワインをおいしく保存、熟成しておける環境がありません。

家庭用電子式ワインセラー UD-12は、ご家庭で手軽に理想的な熟成環境を提供するとともに、保存熟成温度よりも低い、飲みごろ温度に設定することも可能です。

マイコン内蔵によるフルデジタル制御

UD-12は内蔵のマイコンにより、温度を常時監視し、きめ細かな管理を可能にしています。また、ドアの開け放しなどによる異常をお知らせする機能で大切なワインを守ります。

ペルチェ素子* 採用で環境にやさしいノンフロンタイプ

UD-12は冷媒(熱交換するためのフロンなど)を使用していないため、環境にもやさしい設計です。

振動が少ない電子制御

ペルチェ素子には可動部がありませんので、一般の冷蔵庫のようにコンプレッサーがオン・オフするときに発生する振動がありません。

置き場所の制約が少なく、省スペース設計

UD-12は前面・吸排気により、背面や側面に放熱スペースを設ける必要がありません。家具や棚への設置がスマートに行えます。

ワインの保存、熟成に最適な温度設定

UD-12は流す電流によって、温度をコントロールできるペルチェ素子を採用し、高性能な温度センサーとマイコンによる精密な温度制御を実現します。

本機はワインの品種や、産地によって庫内温度を約11℃から18℃まで1℃間隔で設定することができます。

外気温度が低くてもOK

一般の冷蔵庫と異なり、ペルチェ素子*に流す電流の量や、流す向きを常にコントロールすることにより外気温度が設定温度よりも低い場合でも庫内を暖めて、一定の温度に保ちます。

ブルーLEDを採用したフットライト装備

暗い室内でも便利なフットライトのON/OFF機能搭載。

見やすく分かりやすい表示部分

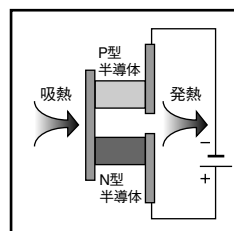
設定状態が一目で分かるディスプレイを搭載しています。

* ペルチェ素子とは

2種類の金属や、半導体の接合されたものに直流電流を流すと一方は吸熱し、反対側は発熱する効果があります。これを発見者の名前をとって、ペルチェ効果と言います。

このペルチェ効果を応用したペルチェ素子の最大の特徴はポンプなどの可動部を使わずに、しかも電流の量や、向きを変えることによって、温度コントロールが自由にできる点です。

本機は、このペルチェ素子ユニットを2基搭載しています。

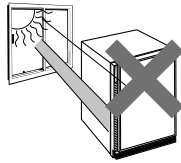


ペルチェ素子の原理

据え付け場所のご注意

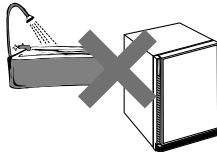
直射日光や、暖房器具など熱の当たらないところ

熱効率を良くして、電気代のムダを無くしましょう。



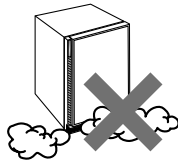
湿気が少ないところ

湿度が高いとサビや故障の原因になります。



ほこりの立ちにくいところ

ほこりが多いとフィルターが目つまりし易く庫内温度が適正に保てなくなります。フィルターが目つまりしたときは16ページを参考にお掃除をしてください。

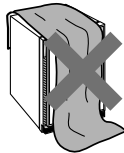


ラジオ・テレビ・パソコン・電話機などから離しておく

ラジオ・テレビ・電話機などの近くに置くとラジオ・テレビ・電話機などに雑音や、画面に縞模様が入ることがあります。

前面下部と左側面の吸排気口をふさがらない

冷却ができなくなります。

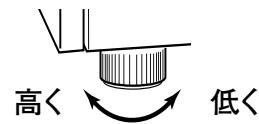


丈夫で水平な床面に置く

きしみ、傾きなどのない丈夫な床に、がたつきがないように設置してください。

がたつきがあると、ファンの微細な振動でも気になることがあります。

四隅の調整脚を回して、高さを調整することができます。

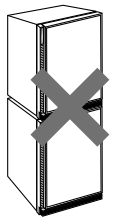


出荷時は一番低く設定してあります。

じゅうたん、カーペット、ビニールタイルなどの上に直接置くとあとがつきます。この場合は丈夫な板を敷いて、その上に設置してください。

積み重ねたり、棚の上などに置かない

地震などで転倒すると、けがや、故障の恐れがあります。



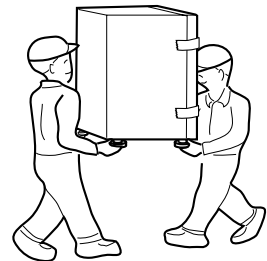
熱いものを上に置かない

ワインセラーの上に熱い鍋や、底の熱くなるオープンなどをおかないでください。

表面の変形や、変色をすることがあります。

運搬、移動をするときは

- 電源プラグを抜く。
 - 庫内に入っているものを全て取り出す。
 - 水受けトレイは外す、または中の水を捨てる。
 - 扉が開かないようにテープで固定する。
 - アンダールーバーを外す。
 - 調整脚がゆるまないように右に回して締める。
- ※各部分の位置は「各部の名前」(10ページ)を参照してください。



- 電源コードを引っ張ったり、足に引っかけたり、または、絡んだりしないようにご注意ください。
- 移動するときは絶対に引きずらないでください。

上手にお使いいただくために

ワインセラーは、ワインを短期的に保存しておくだけでなく、長期間の保存、熟成を楽しむことができるように設計されています。

次のことを参考に、ワインをおいしく保存するようにしてください。

最初に電源を入れたときは

ワインセラーは最初にワインを入れ電源プラグを挿し込んでから庫内が一定温度に安定するまでは外部環境によって1日から2日ほどかかる場合があります。

ワインセラーの温度設定は

UD-12はCC(飲みごろ温度設定)と11℃～18℃の範囲で1℃間隔で設定することができます。

ワインの保存温度と飲みごろ温度とは異なります。適正な保存温度を保っておいしく保存するようにしましょう。

ワイン保存、熟成温度の目安

フルボディの赤ワインなど熟成のゆっくり進むワイン:15℃前後

白ワインなど熟成が早めのワイン:12℃から13℃

スパークリングワイン:11℃から12℃

ワインの飲みごろ温度(飲みごろ温度については9ページを参照してください)

CC(約8℃):白ワイン、スパークリングワインなど

室温のワインを入れるときは

ワインを購入してワインセラーに入れる場合、室温のまま入れるとすでに収納されているワインの温度にも影響が出ます。そのため、一時的に冷蔵庫などで温度を下げてからワインセラーに入れるようにしてください。長期間冷蔵庫に収納しておくことは禁物です。

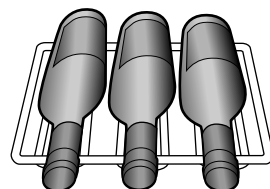
ワインを入れるときは

本機の上部2枚の棚には、それぞれ標準的なボルドータイプの750mlのボトルを各3本収納できます。

ボトルの口を手前にして、ラベルは上向きにして収納します。

下部2枚の棚には、ボルドータイプ、および少し太めのスパークリングワインなどの750mlのボトルを各3本収納できます。

ラベルを上



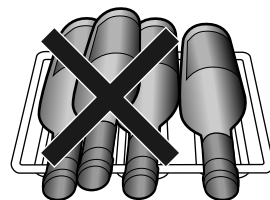
ボトルの口を手前に



注意

ワインを置く場合、1つの棚に3本までにしてください。本数を多くしたりボトルを重ねて置いたりすると崩れたり、滑り落ちたりする危険があります。

また、棚を外して積み重ねたりしないでください。



ワインを保存するときは

- ・一見して清潔そうに見えるワインボトルにも、微量のカビが付着している事があり、外気に比べて湿潤に保たれたワインセラーの中では突然繁殖することがあります。
- ・庫内でたとえカビが発生しても、ワインコルクは十分な湿度を保っているので内部のワインに問題はありませんが、ボトルやラベルをより美しく保つためのコツとして、以下を参考にご使用ください。

カビの発生を少しでもおさえるために

1. ボトルをきれいに拭く

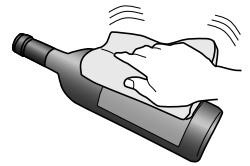
ワインのボトルにはカビの胞子が付着していることがよくあります。

保存される前に、ワインのボトルを良く拭いてください。

まず、清潔な柔らかい布をぬるま湯で浸した後、強く絞ってボトルやラベル、キャップをよく拭きます。ボトルの底の窪みやコルク廻り、ラベルの端面など思わぬ所にカビの胞子が潜んでいることがあります。

その後、もう一度乾いた柔らかい布でよく拭きます。

その際、手の指紋や脂をボトルに出来るだけつけない様にする事が大切です。



2. ワインのラベルをラップで巻いて

ワインのラベルはカビが繁殖しやすい場所です。ラップをまいて外気と触れないようにすると、カビの発生を少しでもおさえることができます。

- ・ラップはワインのラベルより少し大きいくらいのもを使用してください。あまり大きなものを使用するとラップにしわが出来て、ボトルと十分に密着しません。(普通のラップ幅の半分位のミニサイズが便利です)

- ・ラップの巻き始めはしわになり易いので、図のようにワインのラベルに掛からない位置から巻くと良いでしょう。

巻きつけるときは、ラップを引っ張りながら、ボトルに押し付けるように2回巻いてください。巻きつけた後で、ラップから余計な空気を押出しておく事がコツです。





露が付いたり、カビが発生したときは

庫内はワイン貯蔵に適した湿度となっており、通常の冷蔵庫と比べると高い湿度を維持しています。そのため、露や水滴が付着したり、ラベルやコルクにカビが発生することがありますが、ワインの保存に影響はありません。露が付いたときは乾いた布で拭き取ってください。また、カビが付いたときは水を含ませ、きつく絞った布で丁寧に拭き取ってください。

8ページを参考に、ワインのボトルにラップを巻いておくと長期間保存してもカビが付きにくくなります。

ワインの^{オリ}澱について

ワインを保存しておくくと下に固形物が沈殿していることがあります。これは澱と言って、ワインの熟成過程で自然に発生するもので、体に害を与えるものではありませんがワインの風味を損ねるものです。

特に澱の多い場合は、ボトルの底に下がりきらない場合もあります。このときは澱がグラスに混ざらないようにボトルをワインセラーから出して数時間立てておくか、またはデカント*をして澱を取り除いてからグラスに注ぐようにしてください。

*デカント(デカンタージュ)

おもにワインの澱を取り除く目的で、ボトルからデカンターと呼ばれる器に移し替えることを言います。デカントをすると、一般には今まで眠っていたワインの香りを引き出す効果があります。ただしデカントの効果は、ワインの種類やヴィンテージなどによって一概にはいえません。

ワインは飲みごろ温度にして

ワインの熟成、保存に適した温度と、おいしい飲みごろの温度は異なります。

お召し上がりになる前に飲み頃温度にしてからお楽しみください。

ポルドーの赤など重めの赤ワインは18℃前後、ボジョレー・ヌーボーなど軽い赤は12℃などが目安となります。

ロゼや、白ワインは10℃前後、スパークリングワインは5℃位が適温と言われています。

すぐに冷やしてお飲みいただく場合はワインクーラーなどをご使用ください。



飲み残したワインは

飲み残したワインは空気に触れないようにしておくことが大切です。一例として、ハーフサイズのボトルに移し替えた上、なるべく空気の入らないようにいっぱいにし、しっかりとコルク栓をするとワインの劣化を防ぐことができます。

つゆが付いたら

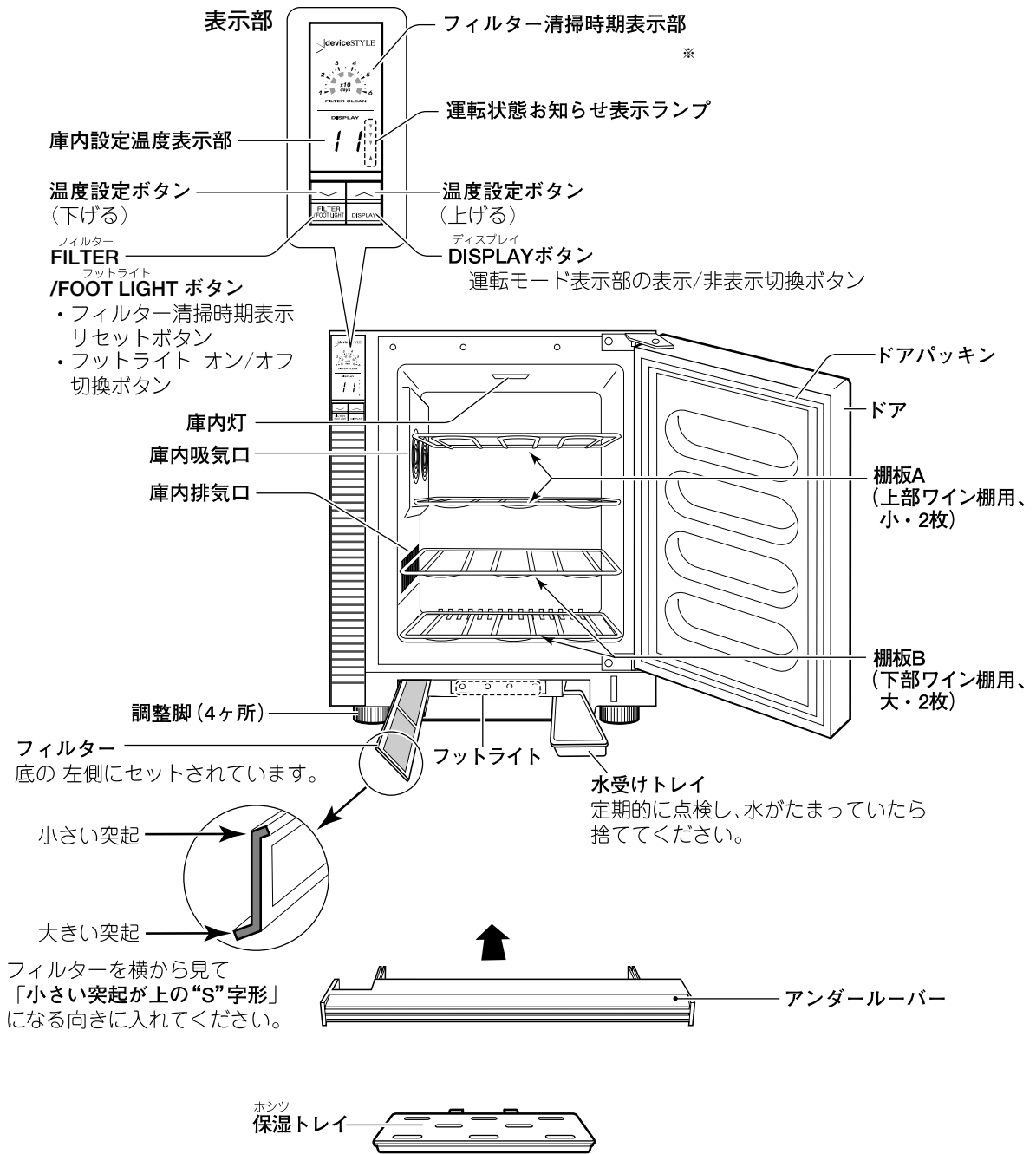
UD-12はコンプレッサーを使わないため、庫内が乾燥しにくくなっています。

そのため、外気温などによっては庫内や、ボトルにつゆが付く場合があります。

つゆが付いた場合は、乾いた布でていねいに拭き取ってください。

各部の名前

各部の働きは11ページ以降をご参照ください。



※ フィルター清掃時期表示部はフィルターを清掃してリセットした後約10日ごとに緑色の表示部が1つずつ消えていき、60日経つと点滅をします。そのときは早めにフィルターの清掃を行ってください。設置環境によってフィルターの汚れ具合が大幅に異なりますので、使用開始直後は1ヶ月以内に確認して、目詰まりしているときはすぐに清掃してください。新しいじゅうたん、ペットのいる部屋など目詰まりしやすい環境では1ヶ月に1回は清掃してください。

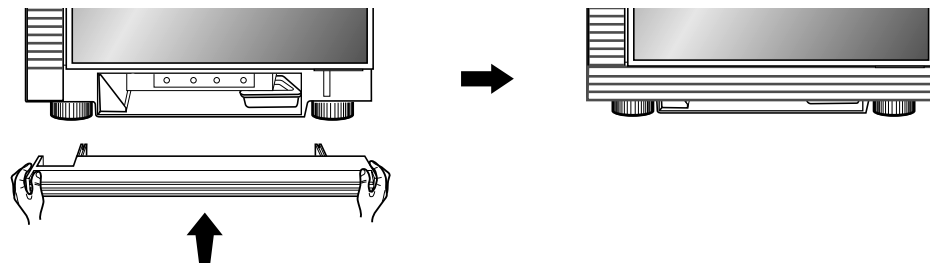


約10日ごとに1つずつ消えていきます。

付属品の取り付け/取り外し

アンダールーバーの取り付け/取り外し

「フィルター」、「水受けトレイ」がセットされていることを確認して、下の図のように取り付けます。
「フィルター」、「水受けトレイ」がセットされていないときは10ページの図を参照してセットしてください。

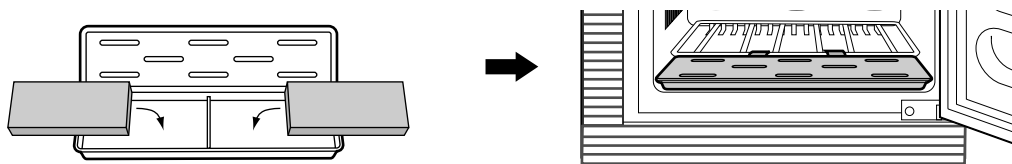


両サイドを持って、本体の溝に
合わせて差し込みます。

取り外すときは、アンダールーバーの両サイドを持って、引き抜きます。

保湿トレイを使うには

ワインの保存、熟成には適度な湿度が必要です。本機は一般の冷蔵庫より湿度を高く保つことができますが、
冬季などで乾燥しているときは付属の保湿トレイをセットして、湿度を保つようにしてください。
湿度が高くなりすぎると、カビが発生し易くなりますので、乾燥しているとき以外は使用を控えてください。

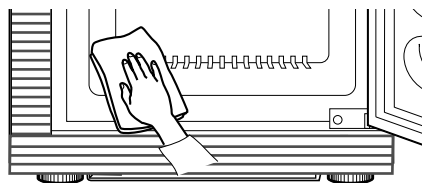


① 保湿トレイのふたを開け、付属のスポンジに水道水を含ませて入れます。

② 保湿トレイを庫内の手前におき、フックを最下段の棚板に掛けます。

1 庫内の清掃をする

ご使用前に、ぬるま湯を浸してよく絞った布で庫内を拭いてください。

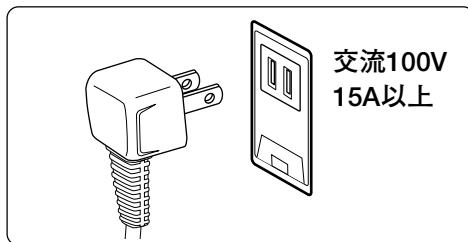


2 電源プラグを差し込む

運転モード表示部が点灯して、運転が始まります。

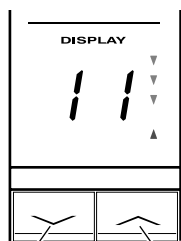


交流100 V、15 A以上の壁面コンセントを単独で使用してください。



3 温度設定をする

初めてお使いになるとき、庫内温度は11℃に設定されています。お好みに合わせて、調節してください。



温度設定ボタン

温度を下げる

温度を上げる

- 表示部下にある温度設定ボタンを押します。
- 押すごとに1℃ずつ変化します。
- 庫内温度はCCと11℃から18℃の範囲で設定することができます。(±3℃)

[温度設定の目安]

- CC(約8℃) : 白ワインや、スパークリングワインなどの飲みごろ温度。
- 11℃~13℃ : 熟成の早い白ワインや、スパークリングワインなどの保存温度。
- 14℃~16℃ : 熟成のゆっくり進む赤ワインなどの保存温度。
- 17℃~18℃ : フルボディーの赤ワインなどの飲みごろ温度。

お知らせ

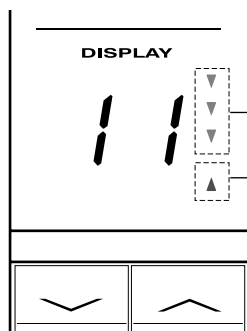
温度設定の基準は・・・庫内の平均温度を基準にしています。

表示パネルの温度は庫内の設定温度です。

※ 設定温度に到達して、温度が安定するまでには外部環境により、1日程度かかることがあります。

※ 庫内の上部、下部など、場所により温度が異なることがあります。また、ワインの収納本数や、扉の開閉頻度などによっても温度が上下することがあります。

運転状態のお知らせ表示



冷却運転表示ランプ

青色の▽ランプが点滅しているときは、設定温度より庫内温度が高いため、冷却運転をしています。
点滅しているランプが多いときは全力冷却運転をしています。

加温運転表示ランプ

赤色の△ランプが点滅しているときは、設定温度より庫内温度が低いため、加温運転をしています。

お知らせ

- 扉の開閉や、ワインの収納状況により、ランプの点滅がしばらく続くことがあります。庫内温度が安定すると、ランプは自動的に消えます。
- 周囲の温度が高いときや、低いときにランプの点滅が消えないことがあります。これは、庫内を設定温度に保つため、「冷却運転」または「加温運転」を続けている状態です。



運転表示ランプが消えているときは：

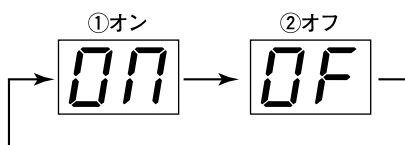
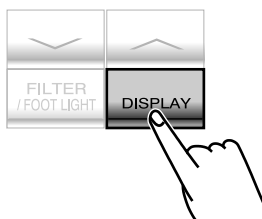
庫内温度が、ほぼ設定温度になっている状態です。
扉の開閉時間を少なくすることなどで、安定状態を長く保つようにしましょう。

表示部をオン/オフする

表示部をオン/オフ(表示/非表示)にすることができます。

- ① オン : 表示部が点灯します。初期設定はオンになっています。
- ② オフ : 表示部が消灯します。

ディスプレイ
DISPLAYボタンを押すたびに切り換わります。

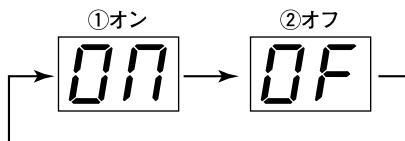
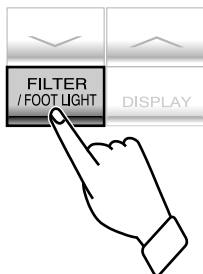


フットライトをオン/オフする

フットライトをオン/オフすることができます。

- ① オン : フットライトが点灯します。初期設定はオンになっています。
- ② オフ : フットライトが消灯します。

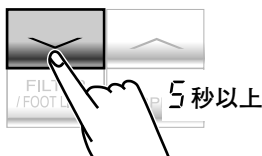
フィルター フットライト
FILTER / FOOT LIGHTボタンを押すたびに切り換わります。



※ FILTER / FOOT LIGHTボタンは長押しするとフィルター清掃時期表示のリセット動作になります。

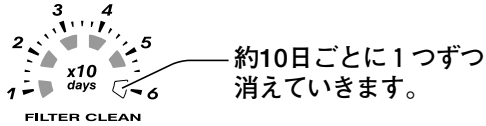
設定を工場出荷状態に戻す

∟ボタン(温度設定・低く)を5秒以上押し続けると全ての設定が工場出荷状態に戻ります。



フィルター清掃時期のお知らせ

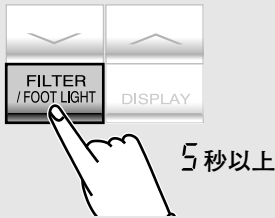
フィルターを清掃して約2ヶ月経つと「^{フィルター}FILTER清掃時期表示」が点滅してお知らせします。



FILTRE清掃時期表示のリセット

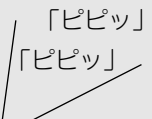
※フィルターを清掃した後はリセット操作をしてください。

リセットをするときは「^{フットライト}FILTER / FOOT LIGHT」ボタンを「ピッ」と鳴るまで約5秒以上押し続けます。一瞬「60」の表示がでて温度表示に戻ります。FILTER清掃時期表示がフルに点灯します。



ドア開放お知らせ機能について

ドアが開いたまま約5分経つとドア開放警告(dd)が点滅し、ブザーが1分おきに「ピピッ、ピピッ」と鳴ります。



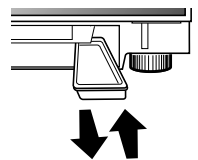
- ドアを閉めると正常に戻ります。

庫内、ドアパッキンの清掃

柔らかい布でから拭きしてください。汚れが落ちにくいときは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を含ませた布で良く洗剤を拭き取ってください。

水受けトレイの清掃

水受けトレイは外して、水洗いし、すみやかにセットします。右すみ奥まできちんとセットしてください。



清掃のときは、次の製品は使わないでください。

- 「アルカリ性」または「弱アルカリ性」洗剤(洗剤のラベルに表示されています。)
- みがき粉、粉石鹸などや、たわし、ナイロンたわし、研磨粒子付き不織布などや酸、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品
- 化学ぞうきんは庫内に使わないでください。そのほかの部分は化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。油が付着したときは、必ずふき取ってください。

お手入れのしかた

ワインセラーを清潔に保ち、また安全にお使いいただくために年に1回は電源プラグを抜き、庫内の清掃とプラグの点検をしてください。また、フィルターなどは冷却効率をよくするためこまめに清掃してください。

警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

フィルターのお手入れ

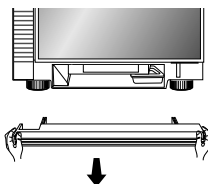
フィルターを清掃して約2ヶ月経つと、表示パネル部の「**FILTER**清掃時期表示部」が点滅します。



フィルターは次の手順で清掃してください。

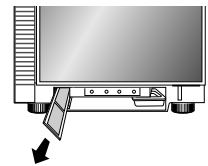
1 アンダールーバーを外す

アンダールーバーの両端を持って手前に引いてください。



2 フィルターを引き出す

本体左側に斜めに取り付けられているフィルターを手前に引き出します。



3 フィルター清掃する

フィルターに付着したほこりなどを掃除機で吸い取ってください。汚れがひどいときは、水洗いし、良く乾かしてから取り付けてください。

4 フィルターを取り付ける

フィルターを元通りに取り付けます。
(11ページ参照)

5 アンダールーバーを取り付ける

アンダールーバーの両端を持って、本体に押し込むようにして取り付けます。

6 ^{フィルター}「**FILTER**」^{フットライト}「**FOOT LIGHT**」ボタンを5秒以上押し続ける

ボタンを押し続けると「**FILTER**清掃時期表示部」が全点灯します。



※ フィルター清掃時期表示部はフィルターを清掃してリセットした後約10日ごとに緑色の表示部が1つずつ消えていきます。

設置環境によってフィルターの汚れ具合が大幅に異なりますので使用開始直後は1ヶ月以内に確認して、目詰まりしているときはすぐに清掃してください。

新しいじゅうたん、ペットのいる部屋など目詰まりしやすい環境では1ヶ月に1回は清掃してください。




故障かな?と思われる前に

大きな音がする、などの障害と思われる症状があるときは、まず下の表の原因をお確かめください。症状が改善されない場合は、**デバイススタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
表示がつかない、電源が入らない。(全く冷えない)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードがコンセントに根元まで差し込まれていますか? ● 停電していませんか? ● プレーカーが切れていませんか?
よく冷えない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ワインセラーに直射日光が当たったり、ストーブの熱が当たっていませんか? ● 電源を入れてから十分に時間がたっていますか? (外部の条件により1日ぐらいかかることがあります) ● フィルターにほこりがつまっていますか? ● アンダールーバーがシートなどでふさがれていませんか? ● ドアにすき間が空いたまま使用していませんか? ● ドアの開閉がひんぱんではありませんか?
音がうるさい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 脚ががたついていませんか? (脚の高さを調節して、がたつかないようにしてください。) ● しっかりした床に設置してありますか? ● ワインセラーにものに乗っていたり、微妙にものが触れていませんか? ● 庫内を設定温度に保つため、ファンが高回転で動作している音がする場合があります。設定温度になれば低回転となります。
扉と本体の間や、庫内に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> ● 庫内が乾燥しにくい、ペルチェ方式のため、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。 ● 外気の温度や、湿度によって、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。
ワインが棚に3本並ばない。	<ul style="list-style-type: none"> ● スパークリングワインなど太めのワインは下の棚2段に収納してください。なお、上の棚2段は太さ約8cm、下の棚2段は太さ約9cmのワインが3本並びます。

エラー表示について

エラー表示	処理
E0、E1、E2	<p>フィルターの清掃が必要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① コンセントからプラグを抜く。 ② フィルターを清掃する。(16ページ参照) ③ プラグをコンセントに差し込む。 ④ 表示部が点滅するまで、、 ボタンを同時に5秒以上押す。 ⑤ 表示部の点滅中に  ボタンを3回押す。 <p>もとの温度表示に戻ります。</p> <p>再度(約4時間後)にエラー表示がでた場合はデバイススタイル カスタマー サポートセンターまでご連絡ください。</p>
E3～E7	<p>デバイススタイル カスタマー サポートセンターまでご連絡ください。</p>

種類	電子式家庭用ワインセラー
定格内容積	38 L
収納本数	標準 12本(ボルドータイプ750mLビン)
庫内温度可変範囲*	CC(8℃)、11～18℃ (±3℃)
外形寸法	(幅)444×(高さ)530×(奥行き)444 (mm)
本体質量	18 kg
定格電圧/周波数	100V ~ 50/60 Hz
消費電力	51 W
電源コード有効長さ	2 m

※ 庫内温度の測定は、周囲温度25℃で測定した値です。
本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

長年ご愛用のワインセラーの点検を!



愛情点検

このような症状はありませんか？

- 電源コードに傷がある
- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- その他の異常がある。

使用中止



故障や、事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、弊社カスタマーサポートセンターまで点検・修理をご相談ください。



停電をしたときは

ドアの開閉をせず、ワインの出し入れをしないで、庫内温度を保つようにしましょう。

長期間使わないときは

電源プラグを抜いて、庫内を良く乾拭きして、2～3日ドアを開けておくとカビや、においの発生を防げます。

保証とアフターサービス

保証書について

- 保証書は必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

- この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

- 保証期間中は
保証の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
この場合、部品代の他に、技術料と、出張料がかかります。

●ご連絡先は

デバイススタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

営業時間: 平日午前9時～午後6時 (土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

交換部品について

フィルター、棚板A、棚板B、水受けトレイ、保湿トレイの交換部品を用意しております。
お求めは上記 **デバイススタイル カスタマー サポートセンター** に直接ご連絡ください。

**廃棄時にご注意
願います**

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのワインセラーを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

株式会社
デバイススタイル ホールディングス
〒107-0062 東京都港区南青山 5-9-6

サービス受付・修理品の送付先
デバイススタイル
カスタマー サポートセンター
電話：048-664-3477
〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

